



# 学校関係者評価報告書

## 2016 年度

平成 29 年 7 月 1 日  
学校法人 日中文化芸術学院  
日中文化芸術専門学校

平成 29 年 7 月 1 日

日中文化芸術専門学校  
校長 張永勝 殿

学校関係評価委員会  
委員長 張永勝

### 学校関係者評価委員会報告

平成 28 年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

#### 記

##### 1 学校関係者評価委員会委員

No	委員の名前	所属	種別
1	張 治中	株式会社アレキサンダーアンドサン 副社長	企業委員
2	斉 会発	大阪帰国者会 会長	業界団体委員
3	温 彬	株式会社日中旅行センター 部長補佐	企業委員
4	邢 雪漫	株式会社日中文化旅行センター 職員	卒業生・企業委員
5	金 学文	株式会社日中旅行センター 部長	企業委員
6	余 維	関西外国語大学 教授	他学校委員
7	馬 磊	株式会社日中文化旅行センター 課長	企業委員
8	劉 本壇	ホテル四海波三谷 支配人	企業委員

##### 2 学校関係者評価委員会の開催状況

第 1 回委員会 平成 28 年 12 月 15 日 (会場 日中文化芸術専門学校 会議室)

第 2 回委員会 平成 29 年 3 月 22 日 (会場 日中文化芸術専門学校 会議室)

第 3 回委員会 平成 29 年 5 月 17 日 (会場 日中文化芸術専門学校 会議室)

##### 3 学校関係者委員会報告

別紙のとおり

以 上

## 別紙

### I 重点目標について

#### 1 重点目標①について

文化・翻訳・通訳・観光分野において、国際感覚を身に付け、日中両国で活躍できる人材の育成が日中文化芸術専門学校に与えられた重大な責務である。

#### 2 重点目標②について

専門的な知識を学び共に、実践能力を備える、オールラウンドな国際的人材を育成することを目標とする。

#### 3 重点目標③について

学生の健康な心身と豊かな人間性・国際的な視野を育成し、即戦力・学力を備えたハイレベルな人材を育成する。

## II 各評価項目について

### 1 教育理念

教育理念：国際的に活躍できる文化・翻訳・通訳・観光分野の人材を育てることが日中文化芸術専門学校の理念である。

教育目標：文化・翻訳・通訳・観光の知識を合わせ持つ総合的人材を育て、本学院生が世界の舞台上で活躍し、社会的貢献をすること。

能力1 健康な心身と豊かな人間性の育成；国際的な視野の育成；即戦力、学力を揃えたハイレベルな人材育成。

能力2 柔軟な問題解決能力と実践力。

能力3 優れたコミュニケーション能力。

能力4 基礎学力の充実と自主的、継続的学習能力。

これらの内容に基づいてシラバス、カリキュラムを作っているため、実現する可能性は高い。

### 2 学校運営

2015年4月に設立されて以来2017年7月に至るまでの二年間は、安定した運営状況だと判断できる。活動・組織・運営、人事・給与に関する制度も完備されつつあり、情報システムも随時更新されるようになっている。

### 3 教育活動

日中文化芸術専門学校のクラス数が一気に増えたため、ある程度教材を統一した。しかし各講師の教育法や内容をチェックしたところ、学生の日本語レベルの低さからテキストを使わず易しい内容のプリントを自分の判断で用意する講師や、非漢字文化圏の学生の教育に不慣れな講師が目立ちはじめ、クラスごとの学習内容にばらつきが出始めた。校舎も講師も増え、全体がわかりにくくもなっていることから講師間の情報の共有が今後の課題である。

日中通訳学科は学校の三学科の一つとして設置されているが、他の二つの学科と違い、留学生の場合、日本語がN1に準ずるレベルで、日本人学生であれば中国語も理解するべく語学的に厳しい要求がなされている学科である。教育目標は、言語を訳せる能力を養成することだけではなく、留学生の場合は、日本で進学することも目標とする者が多い。語学の科目だけではなく、経済学、経営学、社会学、日本文学、日本文化研究など人文科学の専門課程も設置し、多分野で翻訳・通訳として活躍できる人材を育成する条件を整えている。今の段階では、学生は留学生がほとんどとなっており、中国の大学の在学学生、卒業生などが多い。日本での大学院への進学を希望している。授業評価については、かなり評価が高い授業が多いが、教員の研修などの教育活動をさらに体系化する工夫が必要である。

観光・通訳ガイド専攻学科は、三学科の内の一つとして設置されているが、他

の二学科と違い、中国人の日本観光ブーム、爆買い現象などを背景にして更に今後の流れに乗っていく為に総合的な応用型人材を育成することが急務である。ガイド業務、日本史、観光日本語、日本地理、観光英語、日本観光概要、日本旅行業法など特殊な科目が設置されている。

#### 4 学修成果

2015年4月に開校したばかりだが、本格的な進学、就職指導の体制を整いつつである。日中通訳学科では、大学院・大学への進学希望者が多いので、すでに担当者がきめの細かい指導を行っており、2016年4月までの卒業生は名門大学・大学院に進学した。観光通訳ガイド専攻学科は就職をめざす学生を対象として設置されており、卒業生の多くは観光業界などに就職した。日本語・日本文化学科は専門知識を育成中、日本語能力を高めるように力を注いでいる。全学科には社会が必要な人材の育成に重点において、教育している。

観光・通訳ガイド学科	就職率 44%	進学率 —	それ以外 5名
日中通訳学科	就職率 100%	進学率 100%	それ以外 4名
日本語・日本文化学科	就職率 100%	進学率 100%	それ以外 12名

\* 学生志望により

#### 5 学生支援

学生支援は進学指導体制の構築、就職活動指導体制作りと進んでいる。学生寮の整備、アルバイト指導を強化している。留学生に対するビザの更新に関する指導も常に行っている。

#### 6 教育環境

施設・設備は効果的に教育目標を達成できるように、事業計画に明確にして、安全、快適な教育環境を提供できるように計画的に整備している。留学生が多いため、防災対策として、防災センターの見学、防犯・防災講習会や非常口の定期点検などを実施している。図書室も蔵書量を増やすことで充実させている。学外実習等の体制も整備されている。学園祭・運動会・音楽祭を実施した。これからも毎年を行う予定である。

#### 7 学生の募集と受入れ

日中文化芸術専門学校の紹介は、ホームページ、パンフレット、チラシ、広告を通じて入学希望を持っている学生に周知徹底している。海外留学生の募集は、海外へ直接行って説明会を実施。国内の募集は、日本語学校や高等学校へ行って説明会を行ったり、進学フェアの参加することにより市場調査と学校間の信頼関係を強化し、質の高い学生募集を行っている。海外では、現地の大学とも提携し、交換留学など募集・受け入れにつながるシステムを確立している。選考基準を定め、入学試験を実施し、厳正な募集を実施している。約5割の合格率だった。

## 8 財務

財務基盤は安定している。学校法人として、教育活動の充実および永続という目的を達成するため、内外の要因に左右されない財務基盤の充実と強化に重点を置いている。

### 収支予算表

平成 29 年 4 月 1 日から

平成 30 年 3 月 31 日まで

#### 収 入 の 部

(単位 円)

科目		予算額	積算基礎	科目の内容
大科目	小科目			
生徒納付 金収入	授業料	208,250,000 円	2015 年 10 月生 : 20 人 × 350,000 円 = 7,000,000 円 2016 年 4 月生 : 90 人 × 700,000 円 = 63,000,000 円 2016 年 10 月生 : 30 人 × 700,000 円 = 21,000,000 円 2017 年 4 月生 : 126 人 × 700,000 円 = 88,200,000 円 2017 年 10 月生 : 83 人 × 350,000 円 = 29,050,000 円	
	入学金	10,450,000 円	各学科共通 50,000 円 209 人 × 50,000 円 = 10,450,000 円	
手数料 収入	入学 検定料	2,090,000 円	209 人 × 10,000 円 = 2,090,000 円	
計		220,790,000 円		

支出の部(単位 円)

科目		予算額	積算基礎	科目内容
大科目	小科目			
人件費支出	教員人件費支出	96,296,000 円	校長 350,000 円 × 12 ヶ月 = 4,200,000 円 常勤教員 (13 名) (2,660,000 円基本給 + 455,000 円私学共済保険料 + 143,000 円交通費) × 12 ヶ月 + 8,000,000 円賞与 = 47,096,000 円	
	職員人件費支出	17,760,000 円	非常勤教員 (25 名) (3,500,000 円給料 + 250,000 円交通費) × 12 ヶ月 = 45,000,000 円 事務職員 (5 名) (1,000,000 円基本給 + 175,000 円私学共済保険料 + 55,000 円交通費) × 12 ヶ月 + 3,000,000 円賞与 = 17,760,000 円 期末 扶養 通勤手当等 理事及び監事の報酬 300,000 円 × 12 ヶ月	
	役員報酬支出	3,600,000 円		
教育研究経費支出	消耗品費用支出	3,000,000 円		
	光熱水費支出	2,000,000 円		
	旅費交通費支出	3,000,000 円		
	奨学費支出	4,000,000 円		
管理経費支出	消耗品費用支出	2,000,000 円		
	光熱水費支出	2,000,000 円		
	旅費交通費支出	2,000,000 円		
施設関係支出	建物新築及び修繕費支出	20,000,000 円		
設備関係支出	図書支出	5,000,000 円		
	車輛支出	2,500,000 円		
予備費		57,634,000 円		
計		220,790,000 円		

現在、健全な運営がなされている。

財務基盤を安定させるためには、一定数の入学者を確保し続けるとともに、退学・除籍などのドロップアウト対策を強化して改善を図り、一定水準の学納金収入を確保しなければならない。学校法人として、教育活動の充実と永続的な教育活動という目的を達成するため、内外の要因に左右されない財務基盤の充実と強化に重点を置かなければいけない。

## 9 法令などの遵守

監督官庁の大阪府私学・大学課・入国管理局が定めた法令等を遵守して学校運営を行っている。自己点検・自己評価を制度化し、毎年、定期的に行うように定めている。

## 10 社会貢献・地域貢献

検討中項目である。

## 11 国際交流

留学生を積極的に受け入れ、日本国内から多くの留学生が入学した。海外の多数の大学と姉妹校を締結し、異文化交流の促進を積極的に行い、日本だけでなく、世界へと広く視野を持った人材育成を目的としている。留学生支援室の設立。各在籍国の母国語がわかる職員の増加。留学生のビザ更新指導、留学生寮の設置、留学生奨学金制度及び日本語教育の取組みなど。進路指導室より留学生ための求人情報提供している。留学生ための活動を充実している。ますますの国際交流、留学生体制を進化している。